

# 同 推 く ん

第18号

発行日 2003年7月1日

編集・発行 海蔵地区人権・同和教育推進協議会

## 2003年度のスタートにあたって

海蔵地区人権・同和教育推進協議会  
会長 川森 一成

二度にわたる大戦の傷を再び引き起こさないために、約半世紀前に、多くの国が参加した国連の場において論議が行われ、人類普遍の原理としての「人権」の尊重を盛り込んだ「世界人権宣言」を採択したことはご存知のとおりです。しかしながら地球上では、その後民族紛争や戦争によって、尊いいのちが失われ続けています。そこで、21世紀を迎えるにあたり、「世界人権宣言」を採択した意義を再確認し、21世紀を真に「人権の世紀」にしようとする場面で再び論議が重ねられ、1995年を初年度とする「人権教育のための国連10年」を採択し、加盟各国に対し、その実現のための教育・啓発活動の推進を求めました。わが国でも、総理大臣を本部長とする推進本部を設け、国内行動計画を定めたほか、人権教育・啓発推進法にもとづく人権教育・啓発に関する施策を、現在、国、地方自治体をあげて取り組んでいるところです。

海蔵地区同推協としても、わが国固有の人権問題である部落差別をはじめ、女性や障害者、高齢者、外国人などに対する差別が一日も早くなくなり、誰もが心豊かに、幸せに暮らせるまち海蔵、「誰だって生まれてきてよかった」と思える人権尊重のまちづくりのために、顧問及び委員の皆様ならびに市民の皆様のご協力を得ながら海蔵地区の人権・同和教育・啓発事業を積極的に推進して参りたいと思います。

「地区懇談会」では、昨年一市民から寄せられました「同和問題」に関する投書について、今一度、市民の皆さんと一緒に考え話し合う機会を設けることにしました。

また、「人権を考える集い」については、在日外国人の人権について現状を学び、課題について考える機会とすることになりました。この二つは、自分自身も含めてすべての人の人権を大切にするための人権学習の場です。ぜひとも、多数の参加をお願い致します。

## 頑張ります。どうぞよろしく。

6月5日(金)に海蔵地区市民センターで開かれました定期総会で、2003年度の役員体制が決定しました。10数年にわたり、当地区における人権・同和教育推進にご尽力いただいた米川会長が、ご勇退されました。ありがとうございました。また、広報部長の中崎さんと会計の堀部さんが退任されました。なお、堀部さんには会計監査をお引き受けいただくことになりました。今年度の役員は、次のとおりです。(敬称略)  
会 長 川森 一成(前副会長)  
副会長 藤岡 謙(前事業部長)  
副会長 今村 まき江(留任)

## 新役員体制スタート

書記 山本 和典(新任)  
会計 高阪 律子(新任)  
事業部長 近藤 好仁(前書記)  
啓発部長 児島 均(留任)  
広報部長 山本 和典(新任・兼任)

会計監査 位田 昭夫(留任)  
同 堀部 美代子(新任)  
人権が尊重され、差別のない明るい海蔵地区づくりのために役員一同一丸となって頑張ります。顧問の皆様、各委員の皆様ならびに海蔵地区市民の皆様のご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 今年の「地区懇談会」は、何をやるの？

昨年8月に、「同和問題」についてのハガキによる投書がありました。これについて、地域住民の皆様にも「同和問題」についての正しい理解と認識を持っていただくために、昨年12月の人権週間にあわせて「同推くん」特集号を発行し、全戸配布させていただきました。

言うまでもなく、部落差別は、その人に何の責任もないのに、そこに生まれたということを理由に、社会的な不利益を強い、人間としての尊厳を不当にふみにじる許せない人権侵害行為です。

よく「もう部落差別はなくなった」とか、「差別、差別と騒ぐから差別はなくなるんだ」という人がおられます。しかし、海蔵地区には、このハガキを書かれた人のように、「部落に生まれたのは、不幸のはじまりで、仕方がないこと」といった全く「差別される人の痛み」について理解しようとしていない人が残念ながらおられることがわかったのです。

「差別される人の痛みを、自分のものとしていくためにはどうすればよいのか、皆様と一緒に考えてみたい」と思って今年の地区懇談会のテーマに取り上げることにいたしました。日程はつぎのように計画したいと考えています。くわしい日程等が決まり次第お知らせする予定です。

## 当面の地区別開催予定表

- 9月 西阿倉川ブロック
- 9月 末永・本郷ブロック
- 10月 三ツ谷ブロック
- 10月 阿倉川ブロック
- 11月 松ヶ丘・阿倉川新町ブロック
- 11月 野田・清水ブロック



## 今年の「人権を考える集い」は、何をやるの？

国際化が叫ばれていますが、対外的な国際化はもちろん大切なことです。しかし、日本在住の外国籍の人々に対する意識の問題の解決にせまる内なる国際化をはかることはさらに重要です。そこで、今年の「人権を考える集い」は、名古屋市在住の在日韓国人二世の姜春根さんを講師にお迎えして学習することにしました。ぜひ、多数のご参加をお願いします。



開催日時 10月25日(土)  
午後1時30分～午後3時  
開催場所 海蔵小学校体育館  
講演 演 題 「在日韓国・朝鮮人の人たちの人権」(予定)  
講 師 在日韓国民主統一連合東海本部 代表 姜春根(カン・チュン・クン)さん(事業部)

ご意見・お問合せは  
海蔵地区人権・同和教育推進協議会  
四日市市東阿倉川2区622-1  
海蔵地区市民センター内  
地域団体事務局まで  
電話 0593(33)8770

わたしと小鳥とすず  
金子みすず  
わたしが両手をひろげても、  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、  
地面をはやくはしれない。  
  
わたしがからだをゆすっても  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしの  
ように  
たくさんうたは知らないよ。  
  
すずと、小鳥に、それから  
わたし、  
みんながって、みんな  
いらい。



差別を無くすためには、「何が差別なのか」を見抜かなければ無くすことはできません。差別に気づく感性を磨くために、人権学習活動に積極的に参加しましょう。